

1 現状と課題

〔現 状〕

- 本県のものづくり技術基盤を活かした、「医療」「環境・エネルギー」等、成長分野の産業の育成に向けた、高度産業人材（理系大学院修了者・薬剤師有資格者）の確保のため 2015（平成 27）年度に県内企業の協力を得て、「奨学金返還補助制度」を全国に先駆けて創設（2017（平成 29）年度：20 名）
- 一方で、高校生、大学生等、若者の県内定着に向けた取組が積極的に進められているものの、県外流出には歯止めがかかっていない状況
- また、本県には化学系企業を中心に高度ものづくり技術を誇る企業やその製造・研究開発拠点が集積。それら基幹企業と地元中小企業等との連携の強化、県内技術者・研究者等の人材育成や活用の促進が強く求められている

〔課題と方向性〕

- 奨学金制度対象決定者の補助対象企業への就職状況は 3 割程度に留まっており、企業側、学生のニーズを踏まえた効果的な制度の見直しが必要
- 地域の産業を担う高度産業人材の確保・育成に向けては、教育や雇用分野等の関係機関が連携した効果的、総合的な人材確保・育成の取組を進めることが必要
- 瀬戸内基幹企業*を中心とした高度な技術・知識を持つ技術者・研究者と地域中核企業*等との技術交流やそうした人材の県全体での確保・活用を図ることで、県内企業の技術力・研究開発力向上、技術者・研究者の人材育成の進展を期待

2 プロジェクトの概要

重点成長分野*のイノベーション*展開に向けた研究開発力の強化や人材の確保・育成

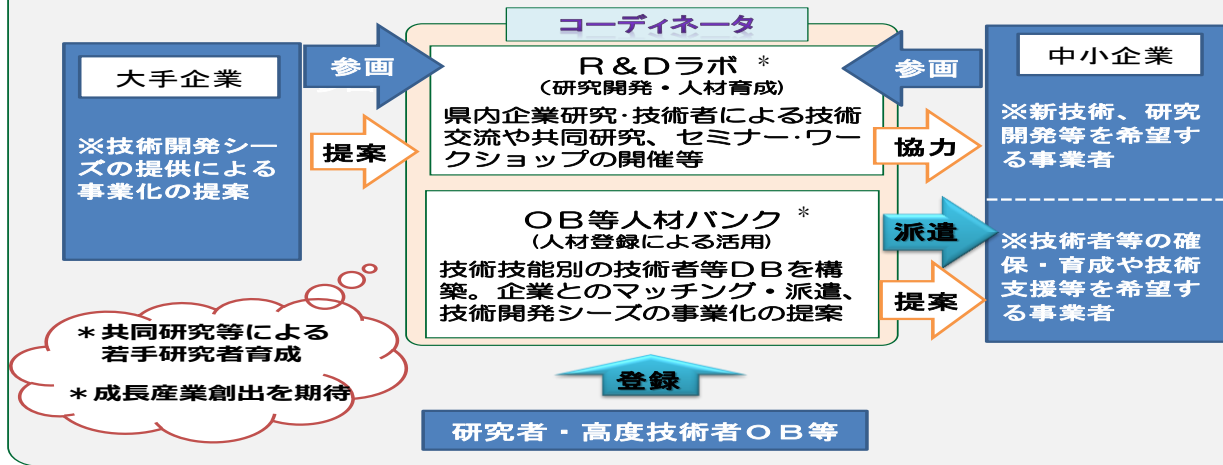
- 県内研究者・技術者の技術交流プラットフォーム（「R&Dラボ*」）の設置等による高度産業人材の育成や技術力、研究開発基盤の強化
- 高度技術者等の技能・知識を活かす人材登録制度（OB等人材バンク*）の構築による産業人材の確保や活用、技術支援等の強化

産業人材の確保

- 県内就職関連事業の連携促進等、若者（高校生、大学生）の県内定着に向けた効果的展開
- 企業ニーズや地域中核企業*の成長に向けた産業人材確保制度の充実

企業間連携による研究開発・人材活用システム

～ R&Dラボ機能（研究開発基盤）と人材バンク機能（高度技術者等人材活用）を一体的に運用～



3 工程表

取組	2018年度	2019年度	2020年度
重点成長分野*のイノベーション*展開に向けた研究開発力の強化や人材の確保・育成	<企業間連携による研究開発・人材活用システムの構築> 「R&Dラボ*」の創設・運用 制度検討・準備	「R&Dラボ」創設・運用	
	「研究者・高度技術者OB等人材バンク*」の創設・運用 制度検討・準備	システム構築	運用開始
産業人材の確保	<「高校生県内就職促進プロジェクト」の活用による県内就職の促進> 庁内プロジェクトチーム設置による取組の検討	若者の県内定着に向けた支援	
	<高度産業人材確保事業(奨学金返還補助支援制度)の充実> 既存事業の実施、制度検討 企業ニーズの把握	制度準備	制度運用

4 取組目標（指標）

指標名	現状値		2020年度目標値
	数値	基準年/年度	
研究開発・人材活用システムへの参加企業数	—	—	50社
奨学金補助制度を活用した県内就業者数(累計)	4	2017(平成29)年度	20人